

Grupo SAYA Andes

グループ サヤ アンデス



河合 智久 かわいとしひさ (チャランゴ)
 千葉 澄美江 ちばすみえ (ケーナ)
 稲垣 富美 いながきとみよし (サンポーニヤ)
 鈴木 友春 すずきともはる (ギター)
 鳥羽 省吾 とばしょうご (サンポーニヤ)

グループ・サヤ・アンデス (Grupo SAYA Andes) は、アンデス地方の音楽「フォルクローレ」を演奏するバンドです。2004年にグループ・サヤが結成され、現在は新生 Grupo SAYA Andes で、2013年より活動拠点を愛知県知多郡阿久比町、旧家：田中邦雄邸の土蔵（建築後160年で、ペリー率いる黒船来航の数年前に完成）をホームグラウンドとし、東海地方のライブハウス、各種演奏会、イベント等で演奏活動を行ってきました。ボリビア・ペルー・エクアドルのフォルクローレを中心に、曲もトラッドなものから最近のナンバーまで幅広く演奏します。



古代アンデス文明展

ANCIENT CIVILIZATION OF THE ANDES

2018年10月6日(土)～12月2日(日)

【開館時間】午前9時30分～17時【入場は16時30分まで】

【休館日】毎週月曜日、第4火曜日【10/8(月・祝)は開館、翌10/9(火)が休館】

主催 | 名古屋市博物館、CBCテレビ、中日新聞社 後援 | ペルー大使館、ボリビア大使館
 協力 | ペルー文化省、ボリビア文化観光省、NTT ドコモ、クントゥル・ワシ調査団、国立民族学博物館
 東京大学総合研究博物館、CBCラジオ、近畿日本鉄道
 企画制作 | 国立科学博物館、TBSテレビ

古代アンデス文明とは、南アメリカ大陸太平洋沿岸部の南北4000km、標高差4500mに及ぶ広大な地域において、先史時代からインカ帝国が滅亡する16世紀までの間に盛衰した文化全体をさします。各文化では、ナスカの地上絵やインカ帝国のマチュピチュといった巨大な遺跡がつくられ、神々や死者を象った土器、精巧な黄金製品やミイラなど、神秘さが溢れます。本展では、代表的な9つの文化を中心に、選び抜かれた約200点の資料から秘められた文明を紹介します。

【観覧料】

	一般	高大生	小中生
当日	1,300円	900円	500円
前売・一般	1,100円	700円	300円

前売券は10月5日(金)まで、名古屋市博物館、主要プレイガイド、主なコンビニエンスストア、チケットぴあ(Pコード769-189)、ローソンチケット(Lコード41986)、イープラス、セブンイレブン、中日新聞販売店、中日文化センターなどでお求めいただけます。

名古屋市博物館

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1
 TEL:052-853-2655 FAX:052-853-3636
 ホームページ <http://www.museum.city.nagoya.jp/>



おでかけは公共交通機関で。名古屋駅から地下鉄桜通線で17分。桜山駅4番出口から徒歩5分。

上部右から一「縄をかけたラクダ科動物(リヤマ?)が描かれた土製の皿」ナスカ文化(紀元前200年頃～後650年頃) ディタクティコ・アントニーニ博物館所蔵 / 「インカ帝国のチャチャボヤス地方で使われたキープ」インカ文化(15世紀前半～1572年) ペルー文化省・ミイラ研究所・レイマパン博物館所蔵 / 「細かい細工がほどこされた金の装飾品」シカン文化(紀元後800年頃～後1375年頃) ペルー文化省・国立ブユニン考古学博物館所蔵 / 「土製のリヤマ像」ワリ文化(紀元後650年頃～後1000年頃) ペルー文化省・国立考古学人類学歴史学博物館所蔵 撮影: 義井豊

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
 会員登録していただいた方に毎月無料で
 新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス 地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中央区栄4-5-14 〒460-0008
 TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
 E-mail info@munetsuguhall.com
 URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00～16:00

*13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業